



2020年3月期 決算説明資料

2020年5月8日
株式会社 セブン銀行

Contents

2020年3月期決算

本日の発表について	…………… P 2
決算ダイジェスト	…………… P 3
損益状況<連結>	…………… P 4
損益状況<セブン銀行>	…………… P 5
損益状況<FCTI>	…………… P 6
損益状況<連結子会社>	…………… P 7
財務状況<セブン銀行>・株主還元	…………… P 8
中期経営計画(2017-19年度)の振り返り	…………… P 9
新型コロナウイルス感染症拡大の影響	…………… P 10
今後の取組方針(基本方針)	…………… P 11
今後の取組方針(事業戦略)	…………… P 12
今後の取組方針(財務戦略)	…………… P 13

参考資料

ATM利用件数の推移	…………… P 15
ATM台数と平均件数の推移	…………… P 16
決済口座事業	…………… P 17

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的拡大に伴い、適正かつ合理的な将来の見積もりが困難なため、本日予定しておりました『新・中期経営計画』の公表は延期させていただきます。また、2021年3月期の業績予想につきましても、一旦未定とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症による業績への影響を慎重に見極め、詳細が明らかになり次第、速やかに公表いたします。

決算ダイジェスト

2020年3月期決算

連結

経常収益 1,485億円 (前年同期比 +13億円)

持分法による投資損失 47億円

経常利益 398億円 (" △9億円)

親会社株主に帰属する

純利益 261億円 (" +129億円)

単体

経常収益 1,202億円 (前年同期比 +7億円)

経常利益 450億円 (" +20億円)

関係会社株式評価損 50億円

純利益 276億円 (" +131億円)

持分法適用の関連会社に係る損失発生

株式会社セブン・ペイ 及び TORANOTEC株式会社、TORANOTEC投信投資顧問株式会社

配当

- 2020年3月期配当：中間5.50円、期末5.50円、年間11円
- 2021年3月期配当：未定（但し、従来からの還元方針を維持）

損益状況 <連結>

(単位：億円)

	18年度	19年度		前年差異
		計画	実績	
経常収益	1,472	1,489	1,485	13
経常費用	1,065	1,092	1,087	22
経常利益	407	397	398	△9
特別損失	149	1	1	△148
親会社株主に帰属する 当期純利益	132	267	261	129
(参考) 持分法による投資損益	実績 △2億円	計画 △16億円	実績 △47億円	

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

: 1米ドル 2018年度 = 110.44円 2019年度 = 109.03円

損益状況 <セブン銀行>

(単位：億円)

	18年度	19年度		
		計画		前年差異
経常収益	1,195	1,202	1,202	7
うちATM受入手数料	1,078	1,075	1,087	9
経常費用	765	784	752	△13
うち資金調達費用	6	8	6	0
うちATM設置支払手数料	150	160	157	7
うち業務委託費	185	203	189	4
うち保守管理費	38	39	37	△1
うち減価償却費	158	142	136	△22
経常利益	430	417	450	20
特別損失	220	1	51	△169
法人税等合計	64	127	122	58
当期純利益	145	289	276	131
EBITDA	589	560	586	△3

期末ATM設置台数 (台)	25,152	25,502	25,215	63
ATM受入手数料単価 (円)	132.9	134.0	130.9	△2.0
平均利用件数 (件/台/日)	92.3	89.2	92.1	△0.2
総利用件数 (百万件)	829	822	849	20

注) 本資料におけるEBITDAは全て、経常利益+減価償却費

損益状況 <FCTI>

(単位：百万米\$)

	18年度	19年度		
		計画		前年差異
経常収益	248.5	255.4	254.0	5.5
経常費用	257.3	253.8	247.7	△9.6
うち資金調達費用	31.7	37.7	35.2	3.5
うちATM設置支払手数料	140.1	139.9	139.7	△0.4
うち業務委託費	17.8	17.6	17.4	△0.4
うち保守管理費	19.6	20.8	17.4	△2.2
うち減価償却費	15.7	7.4	6.7	△9.0
経常利益	△8.7	1.6	6.3	15.0
特別損失	90.6	0.6	△0.5	△91.1
当期純利益	△99.5	0.8	6.6	106.1
EBITDA	6.9	9.0	13.1	6.2
期末ATM設置台数 (台)	12,795	11,770	10,886	△1,909
うちSEI設置	8,349	8,311	8,465	116
平均利用件数 (件/台/日)	37.5	45.0	43.1	5.6
うちSEI設置	52.0	57.2	55.4	3.4
総利用件数 (千件)	177,628	194,000	191,646	14,018

注1) 2020年3月末時点のATM台数=10,759台 (うち SEI内：8,480台、SEI外：2,279台)

注2) FCTI社の資金調達費用=ATM内装填現金を準備する金融機関への支払利息相当額及び委託手数料等

損益状況 <連結子会社>

国内

BBF

(単位：百万円)



	18年度	19年度		前年差異
		計画	実績	
経常収益	1,189	1,410	1,573	384
経常費用	1,052	1,260	1,414	362
経常利益	137	150	158	21
当期純利益	108	97	111	3

- 外部からの事務受託社数 23社 (2020年3月末時点)

海外

ATMi (インドネシア)

(単位：百万円)



	18年度	19年度		前年差異
		計画	実績	
経常収益	96	143	142	46
経常費用	131	142	118	△13
経常利益	△34	1	23	57
当期純利益	△175	1	29	204

- ATM設置台数 200台 (2019年12月末時点)

7PS

(単位：百万円)



	18年度	19年度		前年差異
		計画	実績	
経常収益	45	127	115	70
経常費用	182	328	233	51
経常利益	△137	△200	△117	20
当期純利益	△137	△200	△117	20

- サービス契約社数 276社 (2020年3月末時点)

19年度設立の子会社

- 2019年4月設立 (フィリピン)
Pito AxM Platform, Inc.



- 2019年6月設立
株式会社セブン・グローバルレミット



- 2019年7月設立
株式会社ACSION



- 2020年1月設立
株式会社Credd Finance



財務状況<セブン銀行>・株主還元

貸借対照表 (2020/3末) セブン銀行

(単位：億円)

現金預け金 8,426 (ATM装填用 等)	預金 6,866 (個人預金 4,586)
	社債 1,050
	ATM仮受金 450
有価証券 808	その他 248
ATM仮払金 818	純資産 2,298
その他 860	

資産 10,912 負債+純資産 10,912

単体自己資本比率 (国内基準) 55.64% (速報値)
 格付 (長期) S&P A+
 R&I AA

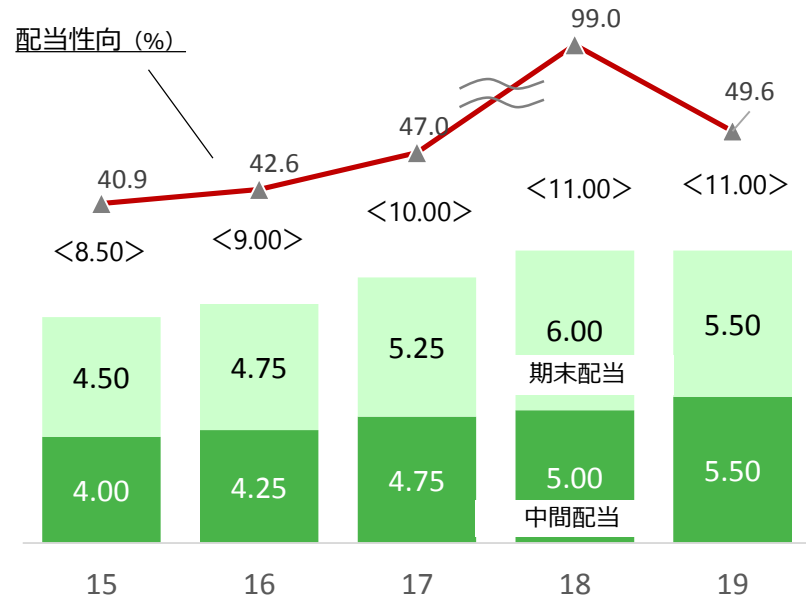
株主還元方針

- 株主還元は、年2回の配当を基本
- 配当性向年間40%を最低目標に、安定的かつ継続した配当

配当

- 19年度：年間11円 (配当金総額 12,970百万円)
- 20年度：一旦未定

配当金・配当性向の推移



中期経営計画

(2017-19年度)

本業を伸ばしつつ事業の多角化を実現

収益・利益の積上げ

▶ **事業環境変化が加速、計画未達**

連結	中計期間積上げ		達成率
	計画	実績	
経常収益	+400億円	+269億円	67%
経常利益	+80億円	+31億円	38%

長期的成長の基盤作り

▶ **着実に施策を積上げ**

① 環境変化に対応したATM利用スタイル

▶ **スマホ取引、チャージ取引 (QR・電子マネー)**
第3四半期以降の利用件数伸長に大きく貢献

② 第4世代ATMでの新たな価値提供

▶ **第4世代ATM開発**
2019年9月設置開始し、期末時点1,150台

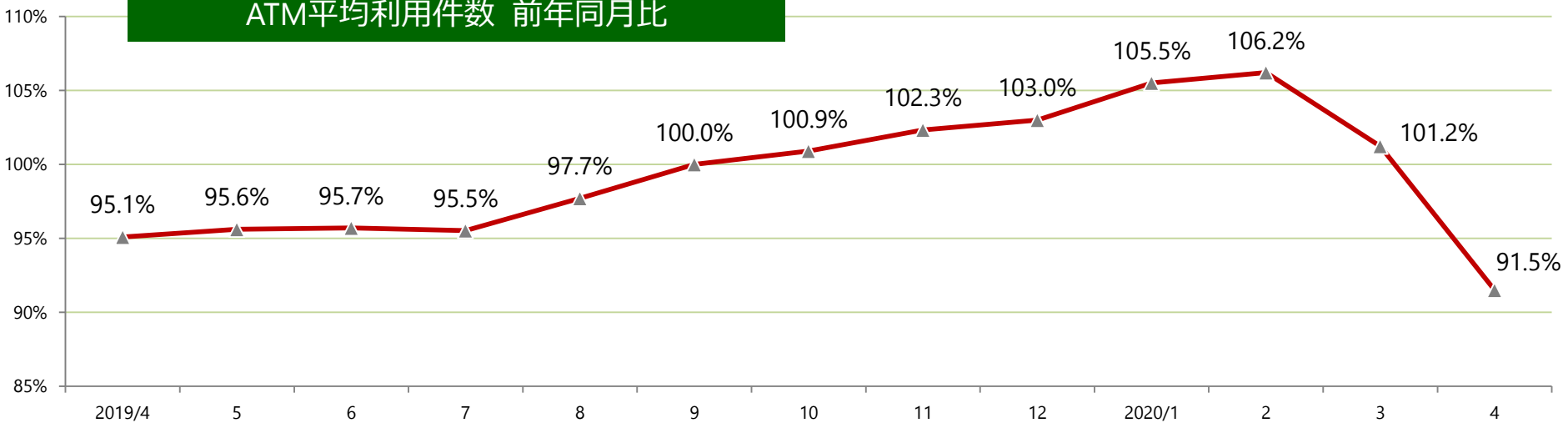
③ 子会社・関連会社による事業化進捗

▶ **子会社設立・出資を推進**
新規事業領域の開発・拡大へ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響

- 緊急事態宣言の発出以降、都市部・夜間休日を中心にATM利用件数減少
緊急事態宣言発出エリア 7都府県(4/7) → 全国(4/16) 影響エリア拡大
- 第4世代ATM製造の部品調達に滞留が発生し、入替計画は一部遅延
- 既存業務(ATMシステム・警送警備等)は安定運用

ATM平均利用件数 前年同月比



ATM設置	設置台数*1	件数増減	
セブン-イレブン店舗	22,165	微減	住宅立地は横ばい、事業所立地・行楽地は減
グループ内 食品SM	590	増	生活雑貨、食品を中心にお客さま増
駅	515	減	テレワーク増・交通機関利用客の大幅減

米国セブン-イレブン店舗設置 ATM平均利用件数 前年同月比			
2020年 1月	2月	3月*2	4月*2
105.2%	102.2%	82.8%	81.5%

*1 2020年3月末時点
*2 速報値

前・中期経営計画（2017-19年度）

本業を伸ばしつつ事業の多角化を実現

基本方針に大きな変更なし

- ▶ 長期的成長の基盤作り
「種まき」から「育成」のステージへ









- 新型コロナウイルス感染症に対し、**社会インフラ**としての使命を全う
- 中長期的な成長を実現する「**事業・サービスの多角化**」とそれを具現化・加速する「**構造改革**」の着実推進

変化への対応
と

基本の徹底

新たな事業領域

既存事業の進化

【国内事業】	個人	身近でユニークな金融商品の開発	
	居住外国人	送金等の金融サービスインフラ提供	 
	BPO	共通インフラとして事務受託ビジネスの強化	
	セキュリティ	「安心・安全」ノウハウを活かしビジネス化	
	法人	決済代行等のインフラ提供	 
【海外事業】		ATM事業の拡大と新事業の検討	

『ATM+』の世界を開拓

- ・現金を超えたサービスの実現

ATM+

できたらいいなを、
プラスしていく。

ATMプラットフォーム事業の更なる強化

- ・全国2万5千台以上のATM網
- ・24時間/365日安定稼働



強固な財務基盤を活用

- 成長投資機会に柔軟かつ機動的に対応
- 生産性向上、人材育成、働き方改革等
構造改革の推進

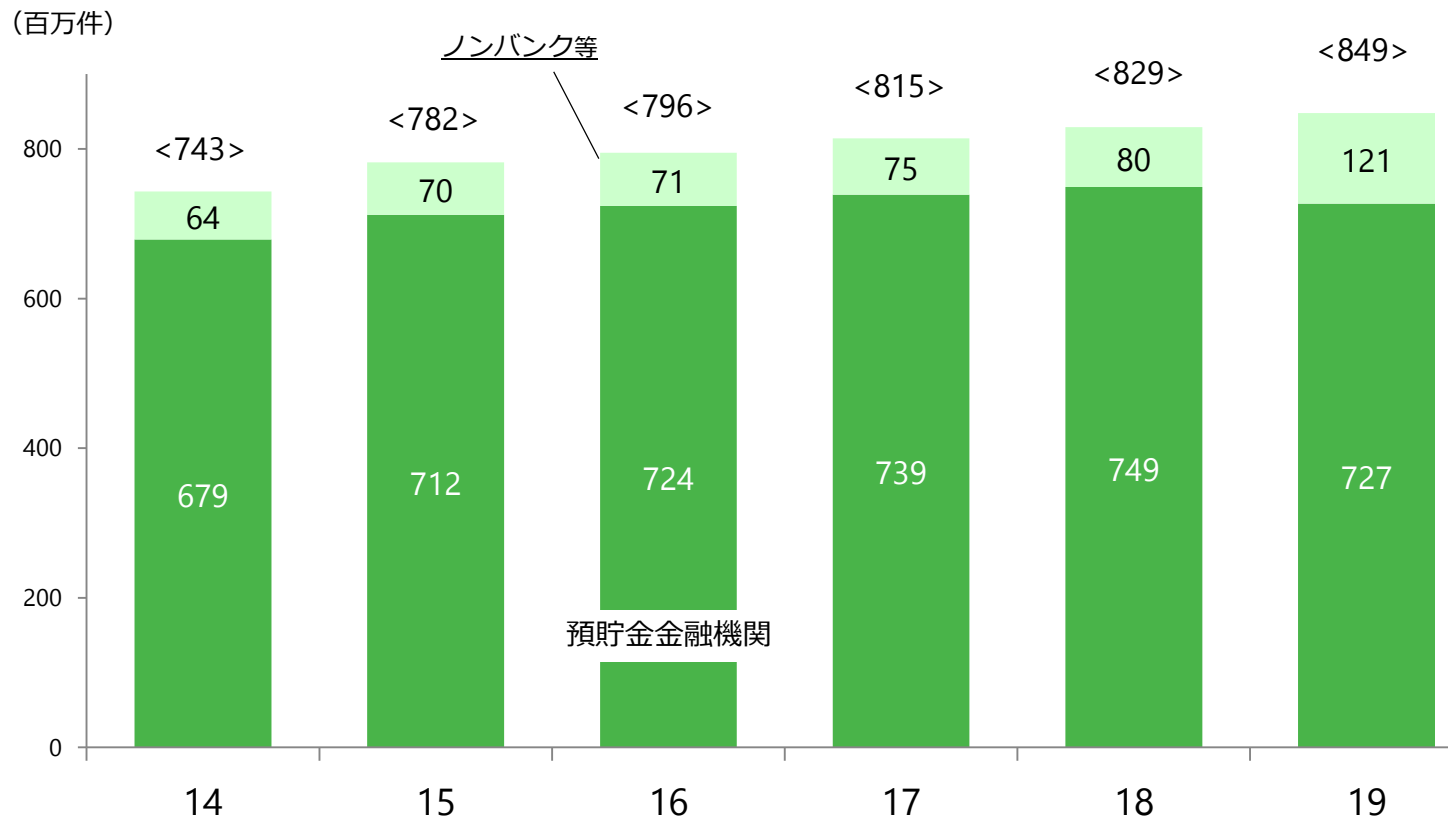
安定的な株主還元

- 年2回の配当を株主還元の基本とし、配当性向40%以上を最低目標に定め、安定的かつ継続した配当に努める

Appendix

參考資料

ATM利用件数の推移



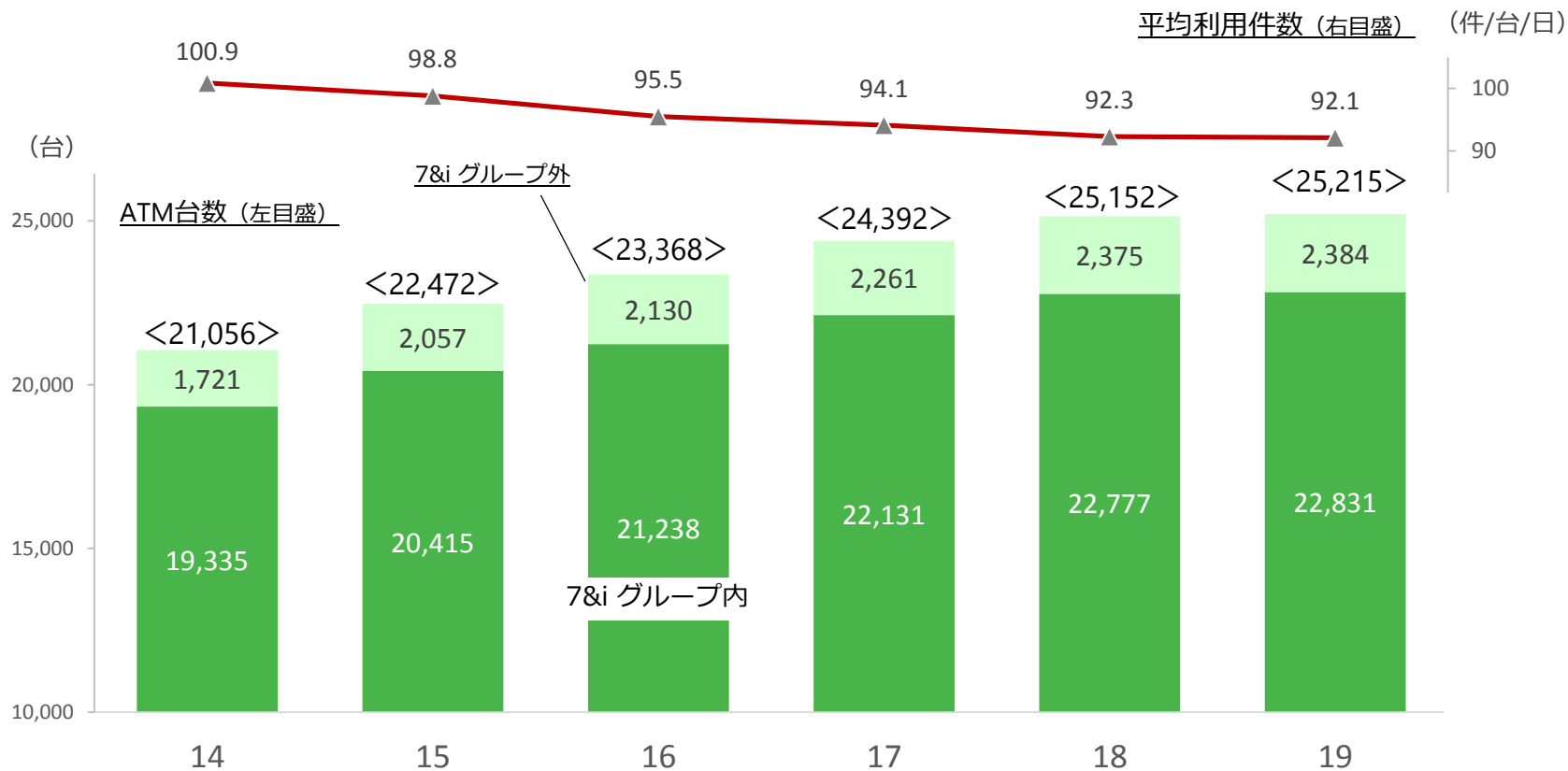
注1) 総利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

注2) ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上金入金等>)で算出

注3) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、事業会社等の合計

注4) 19年度ATM受入手数料単価 130.9円

ATM台数と平均件数の推移

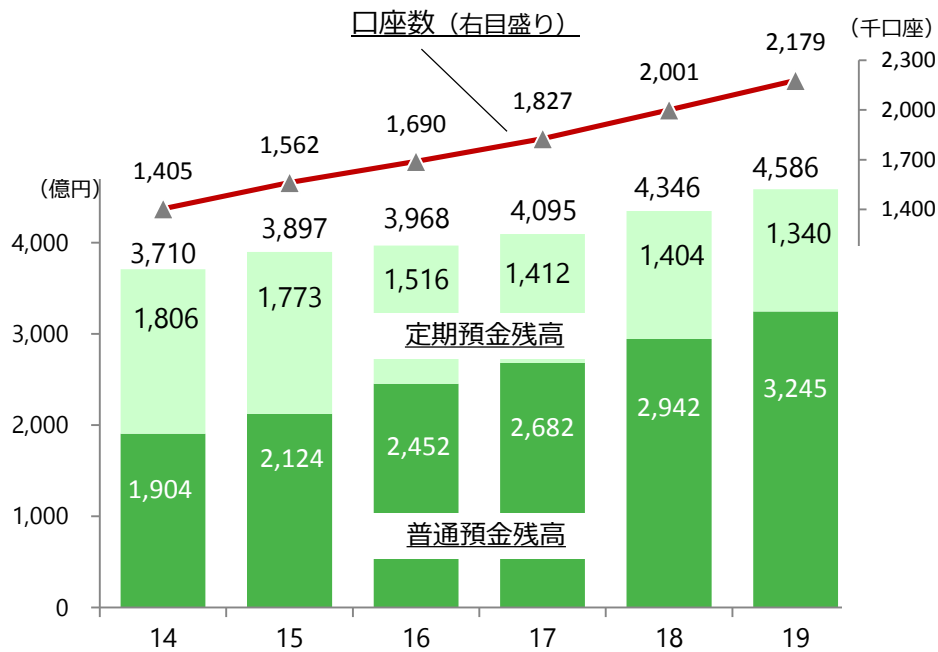


純増台数	+ 1,542	+1,416	+896	+1,024	+760	+63
うち第4世代 ATM台数						1,150

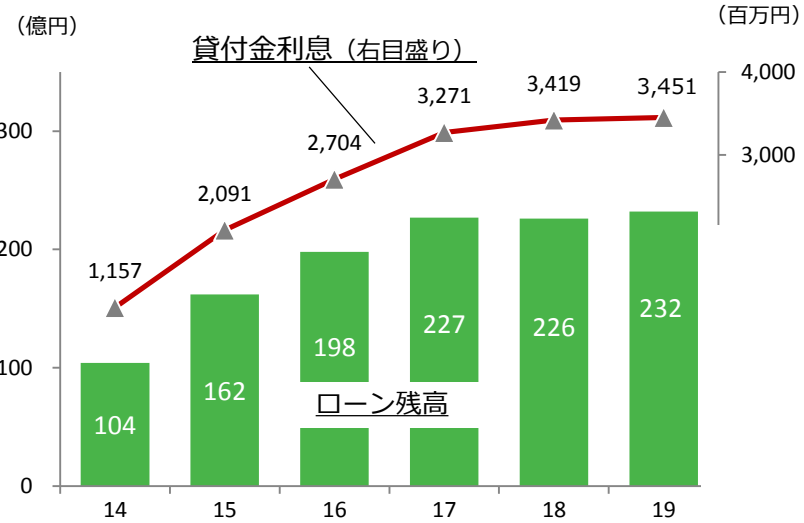
注) 平均利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず

決済口座事業

口座数と預金残高（個人）



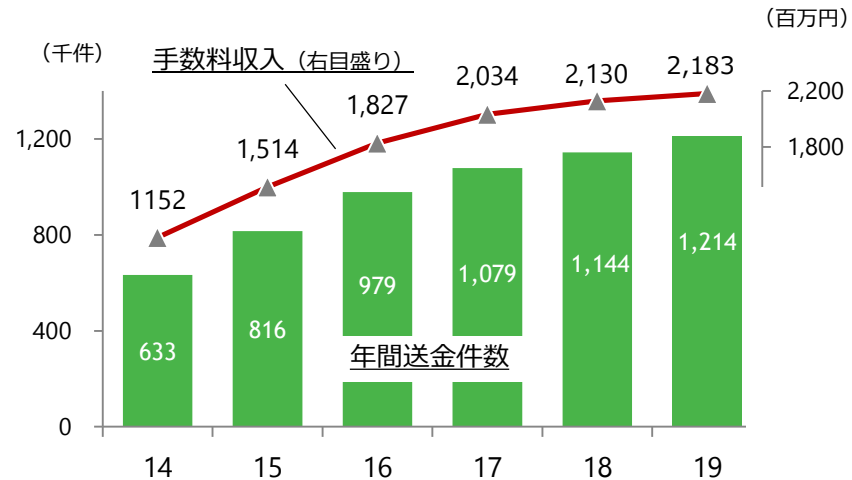
個人向けローン



デビットサービス

	18年度	19年度
契約口座 (千口座)	484	602
取引件数 (千件)	10,473	13,962

海外送金サービス





本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通し等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATMプラットフォーム事業、決済口座事業及び海外事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその連結子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っており、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。